

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
R6	ソフト	1	特定非営利法人イエカラ	住いの終活支援事業	963,849	642,000	自宅の管理や相続に関して不安を感じる高齢者を対象に、当法人が取り組んでいる空き家の管理代行(アキヤマモリ)を行うとともに、買い手や借主の募集事業(偏愛不動産)を周知する取組を強化する。
		2	特定非営利法人森の劇場	居場所支援事業 私的学童「じいじの家」2024	1,191,000	771,000	県下広域(南アルプス市、市川三郷町等)のシニア世代がサポーターとして集い、地域の児童を受け入れ、長期休み中の学童保育を開催し、シニア世代の生きがい促進と子育て世代の負担軽減を図る。 また、地域の若者の雇用にも務め、異世代の多様な交流、互いの理解を深める居場所としても支援する。
		R6合計		2,154,849	2,154,849	1,413,000	
R5	ソフト	1	全国パーキンソン病友の会山梨県支部	樋口了一ポストマンライブin山梨&ランチ会	617,860	441,906	自身が難病(パーキンソン病)患者である樋口了一氏のコンサートにより、難病患者自身は勇気と元気、感動が得られる。健常者は難病患者への理解、勇気、元気、感動が得られる。ランチ会も併せ開催し、コロナ禍を生き抜いた難病同士の交流を持つ。
		2	特定非営利法人イエカラ	さかさま不動産山梨支局開局イベント及びそれに伴うHPの作成・「まちなか工作室」の開所式	873,337	581,000	さかさま不動産のマッチングを経て「まちなか工作室」を県内ではじめて開所する。まちなか工作室ではものづくりに関するワークショップ等を行う予定であり、地域の高齢者から子どもまで世代を問わず集い交流をすることが出来る場所となる。また、併設された喫茶スペースでは高齢者や両親が共働きで孤食になりがちなお子に食を提供し、ひきこもりの方や、ヤングケアラーのお子さんに新たな居場所をつくることも目的としている。地域住民に工作室の存在を知ってもらい今後の利用につなげることを目的にこのまちなか工作室の開所式を行う。 また、県内ではじめてまちなか工作室が開所することを機に、さかさま不動産山梨支局開局イベントが行われる。空き家を福祉に活用することを考える「借りたい人」からの需要があることに着眼し、今後より多くの空き屋の福祉的活用につなげることを目的としている。
		3	山梨県健康生きがいづくりアドバイザー協会	健康寿命延伸生きがいづくり事業	288,860	192,000	高齢社会に向けて、生きがいを持ち楽しく生活する人、社会からも必要とされる、いつまでも意欲的な人を増やすために「フレイル予防・健康寿命」について学ぶ、情報を得る機会をつくる。県内で医療関係や行政・大学などで指導的立場の方から基調講演をいただき、今も現役社会参加をしている人の発表ヒントにもらう。県内3カ所で行う。
		4	特定非営利法人森の劇場	居場所支援事業 私的学童「じいじの家」	874,000	414,000	県下広域(南アルプス市、市川三郷町等)のシニア世代がサポーターとして集い、地域の児童を受け入れ長期休みの中の学童を開催。シニア世代の生きがい促進と子育て世代の負担軽減を図る。また、地域の若者の雇用にも務め、異世代の多様な交流互いの理解を深める居場所としても支援する。
		R5合計			2,654,057	1,628,906	
R4	ソフト	1	NPO法人がんフォーラム山梨	がん啓発をひとりひとりが!	519,600	346,400	日本に暮らす二人に一人が「がん」になる時代。医療の進歩によりがんの生存率も上がり、がんと共生する時代になっていると言われている。しかし、がんに対する適切な知識の浸透やがん検診への関心はまだ途上といえる。 そこで、山梨県民のがんに対する意識向上・知識の一層の浸透を図るべく、『がん啓発ポスター』の作成を企画。そのポスター作成にあたっては広く県内小中高生にがん教育を行い、その生徒たちから図案を募集し、がん啓発のポスターとして県内各所に掲示していく。
R4合計				519,600	346,400		
R3	ソフト	1	山梨県腎臓病協議会	山梨県腎臓病協議会50周年記念事業	787,007	524,000	記念事業を機会として、腎臓病や他の難病に関する正しい知識の普及・啓発や透析患者や難病患者の福祉の向上を図る。
R3合計				787,007	524,000		
		1	一般社団法人富士吉田医師会	転倒予防・骨折予防対策事業 ※令和3年2月25日付けで申込み取下げの申し出あり	-	-	健診受診者を対象として、骨折リスクの高い者を抽出し、行政による指導や医療機関の治療へ結びつけ、転倒等による骨折を予防することで、寝たきりを予防し、地域の健康づくりを促進する。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
R2	ソフト	2	わくわくスペース・フラット	ひきこもり居場所づくり事業 ※対象事業費が20万未満のため、補助対象外	127,321	0	県下広域のひきこもり状態にある者を、定期的に関催する様々なイベントを通して、社会的孤立状態から脱却し、自己肯定感を高め、生きていくことの実感を持てるよう支援する。
		3	地域子ども食堂グループにじいろのわ	地域子ども食堂グループにじいろのわ活用促進事業	321,064	212,000	地域コミュニティの一つである子ども食堂や地域食堂の周知をホームページやチラシによって図り、年齢に関係なく様々な世代の住民が身近な食堂に参加を促し、困りごとの相談や支援状況の提供、活動体験などを通じた相互扶助の機運が高め、地域の活性化などに繋がることを支援する。
		R2合計				448,385	212,000
R1	ソフト	1	音楽を通じた世代間交流会実行委員会	音楽を通じた世代間交流事業 ～共生社会実現のために～	835,000	480,000	県内で活動しているアマチュアバンドとバンド活動を行う子どもたちが音楽を通じて世代間交流事業を行う。地元で仕事をしながら音楽活動を行う大人と、その地域に住む子どもたちが音楽を通じて交流することで、地元で仕事をして生活していくことの素晴らしさを理解してもらうとともに共生社会の実現を目指す。また、ポスター等を掲示することで、参加者等に地域福祉の現状を理解してもらう。
		2	やるじゃん甲州健康体操コンテスト実行委員会	やるじゃん甲州健康体操コンテスト	287,923	191,000	健康体操の発表者並びに参加者が各々の健康体操を実施・体験し、審査員からの体操への助言・意見等を聞く機会とする。また健康講話で得られる最新情報を基に、地域・職域を越えた健康づくり、介護予防活動をより効果的に行うための知識・技術を習得し、さらに各地域に根づく健康活動の推進に寄与することを目的とする。
		3	公益財団法人認知症のひとと家族の会山梨県支部	『おかえりマーク』事業周知用リーフレット作成	218,135	145,000	認知症本人の命の保護、家族の不安解消のため、平成4年から検討し、平成8年度からおかえりマークの配布を行っているが、さらに多くの対象者に配布できるよう、追加で作成し事業を継続する。またマークの普及啓発を図るため、チラシやポスターを作成し県内の関係機関の窓口等に配布する。
		4	一般社団法人山梨県電設協会	福祉施設の電気設備点検奉仕活動	217,024	144,000	県内の社会福祉施設の職員・利用者・児童等が安心な生活を送れるよう、協会員全員が参加し電気設備の点検奉仕活動を行う。
		5	(福)子育て・発達の里こころのサポートセンターネストやまなし	子どもの育てにくさを抱える家族へのサポート	354,000	140,000	発達障害児等の育てにくさを抱える家族をサポートするため、専門家を招き、育てにくさの理解促進のために心理教育を行うことや、子育てのアドバイス等の相談を行う。同時に、障害を持つ方当事者に対し音楽療法を実施し、情緒の発散や自己充実感を促し、子どもの有能感を家族へフィードバックすることで子どもの成長を再認識させる取り組みを行う。
		R1合計				1,912,082	1,100,000
H30	ソフト	1	一般社団法人星つむぎの村	フライングプラネタリウム在宅福祉事業	540,000	360,000	県下広域の在宅で療養をしている重度心身障害や難病の方への福祉サービスとして、フライングプラネタリウムによる星を届ける活動を行う。対象となる方の居宅でのプラネタリウム投影を可能にする機器の整備や、当事業へ参加するボランティアや賛同者を拡大するためのウェブサイト・リーフレット等の充実を図る。
		2	山梨県健康生きがいづくりアドバイザー協議会	健康寿命延伸・健康生きがいづくり事業	276,440	183,000	超高齢化社会において、健康で生きがいを持って元気で地域で生きる人生100歳時代を考え学習するため、外部講師を招き講演会を実施する。介護予防「フレイル予防」や認知症予防について、体験学習や栄養、運動等を通して学び普及する。
		H30合計				816,440	543,000

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H29	ソフト	1	山梨県食生活改善推進員協議会	山梨県の健康問題に応じた減塩等の食生活普及啓発事業	587,439	390,000	県民への減塩に対する啓発、減塩活動を効果的に実施するために資質向上研修を開催し、県民が自らの食生活を振り返り、減塩に対する行動変容が図られることを目指す。
		H29合計				587,439	390,000
H28	ソフト	1	やまなしタバコ問題研究会	禁煙支援・受動喫煙防止・防煙教育事業	0	0	成人には自らの健康のための禁煙のために、未成年には吸わない教育や環境整備のために、タバコに関する知識普及の講演会・勉強会・イベントを通じ、喫煙者・非喫煙者の両者がタバコ問題について考え、県民が自らの健康を自ら守れることを目指す。
		2	山梨県食生活改善推進員協議会	山梨県の健康問題に応じた減塩等の食生活普及啓発事業	572,995	279,000	県民への減塩に対する啓発、減塩活動を効果的に実施するために資質向上研修を開催し、県民が自らの食生活を振り返り、減塩に対する行動変容が図られることを目指す。
		3	高齢社会をよくする山梨の会	第35回高齢社会をよくする女性の会全国大会in山梨	1,300,000	364,000	人生100年時代を見据え、生涯現役、いきいきと元気で最後まで安心して暮らし続けられる高齢社会のあり方を考えるきっかけとし、地域での実践につなげるため、このようなテーマに関心を持つ県内外のグループや個人約1,000人を対象として、講演、シンポジウム等を行う大会を開催する。
		4	(公財)山梨県臓器移植推進財団	山梨県臓器移植推進財団設立30周年記念移植医療推進大会	719,204	341,000	県内において移植医療の普及啓発と関わりが深い、ライオンズクラブや一般県民、また救急医療や終末期医療、透析医療に携わる関係者等が、移植医療の見識を更に深め、全県的な移植医療推進の体制づくりが実現できるよう、財団設立30周年を記念した、推進大会を実施する。
		5	国際医学生連盟山梨支部	思春期ピアカウンセラー養成講座	244,703	158,000	日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会による「思春期ピアカウンセラー養成講座」を、県内の看護学生を主な対象として開催し、県内で活躍できる思春期ピアカウンセラーを養成する。受講した学生は県内の中学や高校等でピアエデュケーションを実践し、さまざまな悩みを抱える思春期の対象者に対して、悩みを共有し、自ら解決できるよう支援をする。
		H28合計				2,836,902	1,142,000
H27	ソフト	1	やまなしタバコ問題研究会	禁煙支援・受動喫煙防止・防煙教育事業	721,888	481,250	成人には自らの健康のための禁煙のために、未成年には吸わない教育や環境整備のために、タバコに関する知識普及の講演会・勉強会・イベントを通じ、喫煙者・非喫煙者の両者がタバコ問題について考え、県民が自らの健康を自ら守れることを目指す。
		2	山梨県食生活改善推進員協議会	山梨県の健康問題に応じた減塩等の食生活普及啓発事業	513,252	331,000	県民への減塩に対する啓発、減塩活動を効果的に実施するために資質向上研修を開催し、県民が自らの食生活を振り返り、減塩に対する行動変容が図られることを目指す。
		3	(公財)がんの子どもを守る会	第20回(公財)がん子どもを守る会公開シンポジウム	849,079	495,000	シンポジウムを通じ、小児がん経験者、小児がん経験者を支えている人たち(伴走者)、医療者、研究者(教育分野・自立就労分野)など様々な立場から討論することにより、小児がんの実態等について見識を深める。
		4	クローバーの会	口唇口蓋裂の研修会	239,684	158,000	県内全域の口唇口蓋裂児とその家族や、治療に携わる医療関係者等を対象に、研修会を通して、この疾患に対する社会的理解の促進、医療制度の改善を図り、口唇口蓋裂児を持つ家族が、県内での治療や情報交換・相談がしやすいよう支援する。
		H27合計				2,323,903	1,465,250
		1	ごく楽介護の会	オムツ外し学会IN山梨	1,659,700	469,700	全国各地で行われているオムツ外し学会を山梨で開催する。介護の世界で有名な講師の方々を一堂に招き、講演を行ってもらうことで、山梨県の福祉業界で働く方、家庭で介護を行っている方、介護を必要とする方、その家族、全ての人々に介護の楽しさを伝える。山梨県内に福祉のネットワークを作り、山梨の福祉をよりよいものにするを目的とする。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H26	ソフト	2	一般社団法人山梨県視覚障がい者福祉協会	山梨県視覚障がい者福祉協会創立60周年記念事業	1,048,749	691,300	山梨県視覚障がい者福祉協会創立60周年の節目を迎えるにあたり、本県の視覚障害者の中核団体として、視覚障害者の日常生活の質の向上と福祉の充実に寄与してきた協会のこれまでの活動内容を振り返る記念誌を作成し、県内の行政機関等へ配布するとともに視覚障害に係る講演を行うことで視覚障害者福祉の普及啓発を推進する。
		3	やまなしタバコ問題研究会	禁煙支援・受動喫煙防止・防煙教育事業	289,936	193,290	成人には自らの健康のための禁煙のために、未成年には吸わない教育や環境整備のために、タバコに関する知識普及の講演会・勉強会・イベントを通じ、喫煙者・非喫煙者の両者がタバコ問題について考え、県民が自らの健康を自ら守れることを目指す。
		H26合計				2,998,385	1,354,290
H25	ソフト	1	北杜肝友会	肝炎患者サポートネットワーク事業	228,493	152,328	C型肝炎の経口剤による治療等と、大きく変わりつつある治療環境の最新情報を、公開講座や健康相談会を通じて、いち早く多くの肝炎患者及び感染者やその家族に知ってもらい、医療機関への受診推奨と心のケアや精神的なサポートを行っていく。
		2	(社)日本介護支援専門員協会 山梨県支部	第7回日本介護支援専門員協会全国大会 in 山梨	6,862,797	393,772	全国の介護支援専門員が一堂に集い、講演や演題発表等を通して介護支援専門員のあるべき姿について考える場とし、お互いに自らの資質を高めることを目的とする。
		3	あけぼの学園創立55周年記念誌出版委員会	あけぼの学園創立55周年記念誌出版	1,330,998	350,000	「あけぼの学園」の療育発祥に関わる時代から現在に至るまでの経緯を出来る限り収集し、その歴史を後世に残すべく記念誌を作成する。
H25合計				8,422,288	896,100		
H24	ソフト	1	社団法人日本介護福祉士会	社団法人日本介護福祉士会第19回全国大会 in やまなし	7,208,616	300,000	介護保険制度施行後10年が経過し、高齢者の暮らしを支える制度として定着する一方、急速な高齢化の進展に伴い、高度化、多様化する介護ニーズや介護人材の確保等、差し迫った課題も多くあり、また、24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護等、新たなサービスの創設、介護職員による喀痰吸引等の実施、資格取得方法見直しの延期、認定介護福祉士(仮称)の検討など、介護福祉士を取り巻く状況は変化し続けている中、山梨県に全国の介護福祉士が集い、全国大会を開催し、講演聴講による知識の拡充や分科会聴講による事例への共感等により、専門職としての幅を広げ、自己の役割を再確認するために、「原点回帰」をテーマに、あるべき方向性(求められる介護福祉士像)を見定めることを目的とする。
		2	北杜肝友会	肝炎患者サポートネットワーク事業(3カ年継続事業)	540,421	360,000	本県はC型肝炎の感染率が東日本で最も高く、多くの感染者がいるため、平成18年8月に県内唯一のウイルス性肝炎患者会として北杜肝友会を発足させ、患者相互の親睦会、勉強会及び情報交換会を開催し、患者同士が心身ともに健全な生活を送れるよう努めてきた。本会の活動を北杜市だけでなく県下全域へと発展させ、多くの肝炎患者、感染者及びその家族への交流や市民公開講座、健康相談会を通じて、医療への受診勧奨、心のケアや精神的なサポートを行い患者の生きがいづくりに資することを目的とする。
		H24合計				7,749,037	660,000
		1	第45回全国ろうあ青年研究討論会実行委員会	第45回全国ろうあ青年研究討論会	5,118,500	500,000	全国のろうあ青年が一堂に会し、実社会における様々な問題を討論し、その学習を通じて相互の連帯と交流を深め、耳の聞こえる青年と手をつなぎあって、平和で明るい人間社会の構築に努めることを目的としている。
		2	第41回全国ろうあ女性集会実行委員会	第41回全国ろうあ女性集会	5,706,600	500,000	全国のろうあ女性が一堂に会し、社会参加上の様々な困難や問題、また成果等話し合い、この集会を通して視野を広げ生活水準や社会福祉の向上を目指し、地域社会にろうあ女性の抱えている問題を広く啓発していくことを目的としている。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H23	ソフト	3	山梨がんピアサポート希望(のぞみ)の会	がんピアサポート事業	648,800	432,500	山梨県が平成22年度に行ったピアサポート研修を受講した者を中心に、がん患者及びその家族・遺族等を対象としたピアサポートを行う。地域に根付いた民間活動を実施し、新たながん患者のQOLを高めるとともに、研修等を通じてサポーターのスキルアップを図りながら、がん経験者の生きがいを推進していくことを目的とする。
		4	山梨県腎臓病協議会	山梨県腎臓病協議会40周年記念事業	2,670,000	600,000	腎臓病に関する正しい知識の普及と啓発、並びに腎臓病患者の自立と社会参加の促進等を目的に、昭和47年に山梨県腎友会として設立された山梨県腎臓病協議会は、結成以来腎疾患分野における保健・医療・福祉の総合化に取り組んできた。今般設立40周年を迎えることから記念事業を通して40年間の足跡を確認するとともに、これを機会により一層の腎臓病に関する正しい知識の普及・啓発や透析患者の福祉の向上を図る。
		5	北杜肝友会	肝炎患者サポートネットワーク事業(3カ年継続事業)	386,000	257,000	本県はC型肝炎の感染率が東日本で最も高く、多くの感染者がいるため、平成18年8月に県内唯一のウイルス性肝炎患者会として北杜肝友会を発足させ、患者相互の親睦会、勉強会及び情報交換会を開催し、患者同士が心身ともに健全な生活を送れるよう努めてきた。本会の活動を北杜市だけでなく県下全域へと発展させ、多くの肝炎患者、感染者及びその家族への交流や市民公開講座、健康相談会を通じて、医療への受診勧奨、心のケアや精神的なサポートを行い患者の生きがいをづくりに資することを目的とする。
		H23合計				14,529,900	2,289,500
H22	ソフト	1	山梨慢性腎臓病対策協議会	山梨腎臓病対策協議会市民公開講座事業	550,000	366,000	市民公開講座の開催やHP開設、医療関係者を対象とした研修を開催し、慢性腎不全患者の減少及び県民の健康増進に寄与する。
		2	うたたねプロジェクト	岩崎けんいちうたたねライブIN山梨県民文化ホール	985,760	657,000	障害児(者)、高齢者、一般県民を対象にコンサートを実施し社会参加と地域交流を図る。また実施にあたりボランティアを広く募集することによって、高齢者や障害児(者)へのりあいを深め、ボランティア活動の活性化を目指す。
		3	山梨車いす生活者の会ステップアップ	公共施設におけるユニバーサルデザイン(バリアフリー)の推進に係わる研修・調査・啓発事業	300,000	200,000	誰にでも利用しやすい公共施設等のあり方を調査・研究・提唱することにより、障害のある人の声をユニバーサルデザインに反映し、県内のユニバーサルデザインの発展を目指す。
		H22合計				1,835,760	1,223,000
H21	ソフト	1	NPO法人認知症を正しく知る会	爆笑劇団による認知症ケア講座事業	407,000	240,000	地域の人に講演と爆笑劇団「ああ上野原」の劇を通じて認知症を正しく理解してもらい、認知症の人、その家族を地域で暖かく見守る杖になっていただくことを通して、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる社会づくりの実現を図る。
		2	TEACCHプログラム研究会山梨支部	研究会山梨支部設立記念講演会	255,000	170,000	発達障害児者の支援に携わる人々(保育士、教師、支援員、保護者など)が、その特性を正しく理解し、それによって当事者が地域社会の中で可能な限り自立した生活を送れるよう教育・支援プログラムを提供することを目的として、山梨支部を発足。TEACCHプログラム導入の先駆者、川崎医療福祉大学佐々木先生の講演を行う。
		H21合計				662,000	410,000
	ソフト	1	山梨県自閉症協会	山梨県自閉症協会ホームページ作成	512	339	自閉症を中心とした発達障害の当事者及びその家族は、福祉行政サービスを受ける前段階で一様に深く悩み、情報を欲しており、現在ではインターネットが情報収集の手段となっている。こうした障害当事者及び家族等に正しい情報を提供し、福祉行政サービスへ繋げるための架け橋として、協会ホームページを作成する。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H20	ハード	1	くずはの森	屋外環境(ネットフェンス)整備	2,000	1,322	入所児童が遊ぶボールが隣接地に飛び込む状況が続くなか、この隣接地に住宅建設計画があるとのことで、土地所有者によりフェンスが張られたが、有刺鉄線付きのものであった。子供が生活する施設として心を痛める状況であり、周辺との軋轢を避けるためにも施設側で防球ネットを整備することで、有刺鉄線フェンスを撤去してもらい、児童の処遇を改善する。
		2	まみい保育園	屋外環境(遊具)整備	1,998	1,490	保育園事業以外に、地域に開放された子育て拠点事業「ひろば型」を実施しており、多くの子育て中の親子が園庭を利用している。園庭にシンボリックなクスギの木があり親しまれており、その樹木を効果的に利用した遊具を設置することにより、園児及び地域利用者の処遇の向上を図る。
		3	菜の花保育園	屋外環境(証明)整備	284	212	保育園入口の門扉付近及び保護者駐車場には照明がない状況であり、夜間及び冬期の夕方ではとても暗くなり、危険な状況であるため、タイマー式の照明器具を設置し、利用者の安全を確保する。また、周囲の暗い状況を改善することで地域の防犯に役立てる。
		4	和泉愛児園	ふれあい交流スペース整備	1,313	984	保育園事業以外に、地域子育て支援センター事業を実施し、地域に開かれた施設運営を展開している。この交流拠点となる遊戯室は昭和61年建設で老朽化が目立ち、特に床板の痛みが顕著であるためこれを整備(紫外線硬化型フロアーコーティング施行)し、利用者の処遇改善をはかり、地域交流を進める。
		5	めだかの学校ジュニア	AED設置	399	299	児童養護施設として20名の入所者があり、文化祭等で地域交流が盛んである。また夜間も職員が常駐しており、こうした施設においては、AEDの設置は入所者のみならず地域住民にとっても有益であると考え、整備するものである。設置後は定期研修を実施する。
		6	押原保育園	体調不良児の保育スペース確保	1,765	1,322	保育園の生活のなかでは、体調不良児を保護者に連絡して迎えを待つ間に他の園児から隔離する必要があるが、現在事務所の一部を利用しているが、季節や感染症の流行時には十分なスペースが確保困難な状況である。安静空間として、また感染症の拡散防止のために、個別に進入路、水周り等の施設が必要であり、改善することにより入園児の処遇を改善するもの。
			H20合計		8,271	5,968	
H19	ソフト	1	山梨県介護支援専門員連絡協議会	介護支援専門員、質の向上研修(在宅福祉等の普及、向上)	642	428	○「法令遵守」研修会…会員に対して制度の仕組及び指定基準等、法令遵守を目的とした研修。日時:平成19年8月～平成19年10月、場所:県立文学館(甲府市貢川)参加人数:150名×3箇所 ○「質の向上」研修会…地域におけるリーダー活動、実務研修等の指導者養成等を目的とした研修。日時:平成19年12月～平成20年2月、場所:かいてらす(甲府市東光寺)、参加人数:30名×2回、講師:立正大学教授 國光登志子氏
		2	山梨県喉頭摘出者福祉会	第20回日本喉頭摘出者団体連合会東日本ブロック発声指導者養成研修会(在宅福祉等の普及、向上)	392	200	喉頭摘出者の音声回復と社会復帰を目的とした食道発声の訓練指導者を養成するために、各地区団体から選出された指導員の技能向上研修を実施する。特に、誤発声矯正と食道発声早期取得の取組みを中心に研修を実施する。 日時:平成19年10月1日～3日、場所 ニュー芙蓉(甲府市塩部)、参加人数85名(事務局、団体指導員)、講師:県立中央病院耳鼻咽喉科医長 平賀幸弘氏

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
	ハード	1	養護老人ホーム功德会	入所者居室改修工事(民間社会福祉施設の環境整備事業)	1,787	1,340	①バリアフリーとするための床のフローリング化②障害者用トイレの設置③車いすでの出入り可能な入り口及びドアの改修④個別対応を意識した照明器具等の設置 補助金交付後、設置予定
		2	養護老人ホーム聖ヨゼフ寮	OA機器の整備	773	580	パソコン、プロジェクタ及び無線LANの設置 補助金交付後設置予定
		3	養護老人ホーム光珠荘	カラーコピー機の整備	889	667	多機能型カラーコピー機の設置 補助金交付後、設置予定
		4	児童養護施設テラⅡ	児童養護施設テラⅡ 2F児童居室床改修工事	1,344	1,008	児童居室絨毯の撤去、木製フローリング化 補助金交付後、改修予定
		5	地域活動支援センターあゆみの家	パソコン等整備事業	293	220	パソコン、プリンタ及びデジタルカメラの設置 補助金交付後、設置予定
		H19合計				6,120	4,443
H18	ソフト	1	(社)日本てんかん協会山梨県支部	てんかんセミナー in Yamanashi	223	147	セミナーを通じて、てんかんに関する診療の紹介と、医療及び支援活動に関連した講演を行う。
		2	高齢者サポート協会やまなし	共に考えよう・老後のこと・笑劇場	300	200	老後への備えの大切さを面白くコントで上演し、その解決策を専門家がアドバイスし、共に考える機会を提供する。
		3	(社)山梨県視覚障害者福祉協会	第20回(福)日本盲人会連合関東ブロック視覚障害者サウンドテーブルテニス山梨大会	794	529	サウンドテーブルテニス競技を通じて、技術の向上、心身の鍛錬、相互の親睦を図る。
		4	山梨県肢体不自由児協会	韓国・忠清北道との国際交流事業	2,124	1,416	「総合社会福祉センター」開館記念行事への参加、障害者団体「障害者再活協会」との交流会実施等を行う。
	ハード	1	上野原第2福祉作業所	トイレ改修工事	2,000	1,500	施設内のトイレが狭く、暗く、不衛生であるため、改修し来客用トイレを設置する。
		2	都留福祉作業所	屋外作業効率改善事業	1,433	1,075	軽トラックを1台購入し、分業による作業効率の改善及び収益の増加を図る。
		H18合計			6,874	4,867	
H17	ソフト	1	山梨子育てサークルネットワークママネットやまなし	子育てサークル交流・活性化事業「山梨ママパワー」	450	300	交流イベントを開催し、情報交換等を行うことで、山梨県全域における子育てサークルネットワーク作りを進める。
		2	山梨県児童福祉施設栄養士会	食育イラストと解説書セットの作成	1,995	1,330	紙芝居仕立ての食育イラストで、広く「食」について、子どもたちや保護者に興味を持ってもらい、地域でも、啓蒙する。
		3	「障害者自立支援法案」山梨県対策本部	聴覚障害者の理解普及及び啓発事業	683	436	障害者自立支援法(以下「支援法」)の成立により、聴覚障害者理解促進ビデオの製作・配布、シンポジウム等を開催する。
	ハード	1	知的障害者授産施設「グリーンヒルホーム」	バケット付トラクターの購入	2,000	1,500	新しいトラクターを購入し、維持管理費用の消滅と、作業効率化を図り、授産での生産性を上げる。
		2	知的障害者更生施設「わ〜く穴山の里」	ノートパソコン購入	359	269	パソコンを購入することにより、事務の効率化を図る。
		3	心身障害者小規模作業所「成実作業所」	屋上防水改修工事	1,369	1,026	作業所の屋上部分の防水がはがれているため、屋根の防水改修工事を行う。
		4	身体障害者デイサービス事業所「あおぞら」	打楽器の購入	546	409	ドラムセットなどの打楽器を購入することで、音楽教室の幅が広がり、交流的な活動も積極的に行うことができる。
		5	身体障害者通所授産施設「ワークハウスみどりの家」	授産事業活動拡充のための機器整備	307	230	大きな製品の製作に必要な機器を購入し、充実した授産活動と利用者の可能性や意欲、スキルを引き出す自立支援の一環としていく。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要		
		6	知的障害者小規模通所授産施設「ともしび福祉作業所」	作業室の建設	1,963	1,450	第二作業室を建設し、年間通して充実した作業ができるよう環境整備をする。		
		7	心身障害者小規模作業所「わかかさ作業所」	カーテン、アコーデオンドア設置工事	445	333	作業所内にカーテン等を整備し、防寒、防犯対策とするとともに、作業環境の改善による作業効率の向上をする。		
		8	身体障害者療護施設「コスモス」	ノートパソコンの購入	255	190	パソコンを購入し、パソコン教室を実施する。		
		9	知的障害者通所授産施設「春の陽」	ふれあい交流スペースの整備	1,212	908	パン、クッキーの製造の際必要となる機器を購入し、地域の活性とノーマライゼーションの一助になる活動を行う。		
			H17合計		11,584	8,381			
H16	ソフト	1	NPO法人コラボレーター	障害者支援イベントの開催	1,800	1,200	福祉バザーの開催や、障害者自身の演目発表、さらには、落語・マジック・大道芸等を実施する。		
		2	山梨県視覚障害者福祉協会	視覚障害者理解促進ハンドブックの作成及び啓発事業	1,100	700	「視覚障害者理解促進ハンドブック」を作成し、視覚障害者理解促進講演会を開催し、啓発活動を推し進めていく。		
		3	虹の谷	第5回虹の谷の子供達絵画展	235	100	絵画展の開催によって、障害児一人一人の内面の豊かさや美術教育の大切さを啓発していく。		
		4	山梨県聴覚障害者協会	第34回関東ろうあ青年のつどい（県大会）の開催	29,600	300	バリアフリーや海外ろうあ者状況などをテーマとした講座や分科会、交流会等を行う。		
		5	全国心臓病の子供を守る会山梨県支部	療育キャンプの開催	505	200	心臓病児の積極的な行動の育成と保護者同士の交流を図るため、療育キャンプを行う。		
		6	コスモスボランティアの会	ボランティアの会活動事業	210	140	サポート活動を通して作成した作品の展示販売会を実施する。		
		7	NPO法人天使のおもちゃ図書館はばたき	障害(児)者サタデースクール事業	414	232	リトミック教室や絵画教室など、障害(児)者を対象とした様々な行事を通して、障害(児)者を支援する。		
	ハード	1	知的障害児通園施設「つつじが崎学園」	倉庫増設と給湯設備等整備事業	1,059	793	倉庫の増設、保育空間の確保、給湯設備を整備する。		
		2	知的障害者小規模作業所「どんぐりの家」	テーブル、イス購入事業	271	203	新たにテーブル・イスを購入し、利用者の安全確保・処遇向上のための環境整備を行う。		
		3	養護老人ホーム「聖ヨゼフ寮」	玄関スロープの設置工事	494	370	玄関にスロープを設置し、施設での日常生活において安全性を確保する。		
		4	軽費老人ホーム「ケアハウスサンリバー塩山」	施設内の手摺り取付け及びクロス貼付事業	1,067	800	施設の廊下に手摺りを設置する。クロスを貼り、入所者が安心して生活できる快適な環境を整備する。		
		5	身体障害者療護施設「かじか寮」	屋外環境整備(被害防止用フェンス設置)	1,365	1,023	畑の周りに被害防止フェンスを設置し、療護のための園芸・農作業が円滑に行えるよう環境を整備する。		
		6	身体障害者通所授産施設「ぎんが工房」	OA化の推進事業	258	193	パソコンを導入し、業務省力化を図り、授産商品のインターネット紹介等、販路拡大を目指す。		
		7	知的障害者小規模作業所「ふれあい作業所育美会」	ふれあい交流の場整備事業	391	292	休息できる憩いの場としてテーブル・イスを購入する。		
		8	知的障害者小規模作業所「上野原第一福祉作業所」	トイレ改修工事	2,000	1,500	快適に使用できるトイレを整備し、通所者の処遇向上を図るとともに、養護学校の実習生や地域住民が来所し易い作業所環境を整備する。		
		9	心身障害者小規模作業所「ふきのとう」	OA化の推進事業	377	282	パソコンを導入することにより、事務の効率化・省力化を図る。		
		10	知的障害者通所授産施設「勝沼授産園」	食器洗浄機整備事業	742	500	給食業務の効率化・省力化を図り、休憩時間における通所者の娯楽時間やボランティア・職員との交流時間を確保するための環境整備を行う。		
					H16合計		41,888	8,828	

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H15	ソフト	1	県肢体不自由児協会	韓国忠清北道との交流事業	1,165	776	友好関係の樹立と国際理解能力養成のため、訪問団を受け入れ、交流を行う。
		2	県障害者福祉協会	障害をもつ人の権利の保障を考えるシンポジウム	482	321	日本における差別禁止法制定について活動する弁護士、当事者団体の関係者から活動状況等を聞き、考える機会とする。
		3	峡東地域親子寮育教室かみふうせん	峡東地域親子寮育教室かみふうせん	201	130	保護者、保育士、ボランティア等で情報や意見を交換し、誰もが住みやすい街づくりを考え合う場をつくる。
		4	特定非営利法人れいめいの会	障害者とともに“風の丘で遊ぼう”	580	380	懇親を図り、障害をもつ人の社会参加と障害をもつ人に対する県民の理解を図る。
		5	特定非営利団体あさひファーム	ホースセラピー啓蒙活動(シンポジウムの開催)	500	300	ホースセラピーに関するシンポジウムを開催し、同時にデモンストレーション(乗馬実演)を行う。
		6	県臓器移植推進財団	臓器移植推進街頭キャンペーン	722	481	県、ライオンズクラブ、アイバンク、腎臓病協議会等と協力して街頭一斉キャンペーン等をより強力に普及活動を実施する。
		7	県獣医師会	動物介在療法(アニマルセラピー)参画事業	850	550	ボランティア研修会やコンパニオンアニマルしつけ教室を開催するととる。
		8	県青少年団体連絡協議会	県青少年団体連絡協議会ボランティア連絡推進事業	1,170	780	各種団体実施事業との情報発信の効率化を図り、ボランティア関連事業等の円滑な実施に資する。
		9	共育ちの会「あ・そ・ぼ」	子ども・大人共に育ち合う地域ボランティア活動	200	133	施設訪問活動や研修・学習会等の地域福祉活動を行う。
		10	山梨社会福祉実践学会	ソーシャルワーク実践研究発表会	485	300	日々の実践や研究の成果を発表し、福祉専門職としての資質の向上や連携を推進する。
H15	ハード	1	軽費老人ホーム「あやめの里」	遊歩道整備	1,854	1,300	建物南側の環境を整備し、敷地内でリハビリを兼ねた散歩が楽しめるような遊歩道を設置する。
		2	養護老人ホーム「功德会」	全自動血圧計の整備	368	275	全自動血圧計を購入し、こうした日々の健康管理に活用すると共に、施設の諸行事に参加される地域住民にも合わせて利用してもらう。
		3	児童養護施設「くずはの森」	倉庫の購入	945	708	入所者処遇改善のため、既存の遊具収納スペースや雨天時活用スペース確保が必要であるため、新たな倉庫を設置するものである。
		4	知的障害者小規模作業所「津金の里」	障害者用屋外トイレ整備	1,871	1,403	地域に開放された施設とするため、また利用者の処遇向上のために障害者用屋外トイレを整備する。
		5	知的障害者小規模作業所「あゆみの家」	屋外用水道及び案内看板の整備	250	187	車椅子のタイヤの汚れを落とすための屋外用水道を設置し、案内看板を設置することにより、施設利用者に対する処遇向上を図る。
		6	知的障害者小規模作業所「たんぼぼの家」	カーポート取付	298	223	カーポートを設置することにより、慌てず安心した乗降が可能となり、利用者に対する処遇改善が図られる。
		7	身体障害者小規模作業所「みつばちの家」	デジタルフルカラーコピー機の整備	1,200	900	デジタルフルカラーコピー機を設置することにより、印刷発注業務の拡大が図られ、活発な授産活動が展開できる。
		8	身体障害者小規模作業所「わかぎり福祉作業所」	屋根等塗装修繕	433	324	屋根等の塗装を行い、作業所の環境を整えることによって、利用者に対する処遇改善を図る。
		9	身体障害者小規模授産施設「茅土屋」	エアコン取付	998	748	室内の空調設備を整備することにより利用者の処遇改善を図る。
		H15合計		14,572	10,219		
H16	ソフト	1	県肢体不自由児協会	韓国忠清北道との交流事業	2,100	1,400	現地の障害者団体等との交流を通じ、相互理解と友好を深めるとともに、海外見聞を通して障害児者の国際理解能力の養成を図る。
		2	県身体障害者連合福祉会	山身連創立50周年記念情報誌発行事業	6,996	4,660	情報記念誌を発行するとともに、50周年記念式典を開催する。
		3	筆記サークル エプロンの会	難聴・中途失聴者の健康・生きがい講座及び交流会の開催	593	376	情報紙の発行を通して、難聴者、中途失聴者の情報保障と社会参加の促進を図る。
		4	県認可外保育所連絡協議会	いきいき親子フェスタ(第2回)	295	177	いきいき親子フェスタの開催を通して、共働きのために日頃ふれ合いの少ない認可外保育施設園児と保護者が共に遊び楽しむ場を提供する。
		5	県腎臓病協議会	県腎臓病協議会結成30周年記念事業	952	600	感謝のつどいなどの記念事業を通して、腎臓病に関する正しい知識の普及・啓発や透析患者の福祉の向上を図る。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H14	ソフト	6	県獣医師会	動物介在療法(アニマルセラピー)参画事業	838	558	ボランティア研修会やコンパニオンアニマルしつけ教室を開催するとともに福祉施設などを訪問する。
		7	勝沼人形劇団 葡萄の実	東山梨ふるさと塾ルネッサンス	755	500	勝沼町ボランティアまつりとジョイントしての記念事業や各種イベント、慰問活動を行う。
		8	日本てんかん協会県支部	第12回てんかん県民講座	129	86	薬の管理、発作時の対応等の新しい情報について、専門職のためのてんかん県民講座を開催する。
		9	東八青年会議所	第13回アブリオ東八(骨髄バンク普及・啓発事業)	1,730	300	白血病の少女と転校先のクラスメートとの心温まる交流を描き、国内外で絶賛された演劇「友情」のチャリティー公演等を実施する。
	ハード	1	八ヶ岳名水会「星の里」	リサイクルセンター兼ステージ整備	608	455	施設から出るゴミを集めておくりサイクルセンターを敷地内に設置し、ゴミ収集時以外にはお祭りやイベントのステージとして活用する。
		2	韭崎福祉作業所	ロッカーの整備	396	296	施設利用者のプライバシーを保護し、安心して作業ができるよう、鍵のかかるロッカーを購入する。
		3	清長会「千代田荘」	製氷器等の整備	429	321	利用者の急な発熱時に対応するため製氷器を購入する。また、食堂の近くに置く洗濯機を購入する。
		4	さかき会「みらいコンパニー」	チッパー・シュレッダーの整備	515	385	「チッパー・シュレッダー」の導入により、作業の省力化、生産性の向上が図る。
		5	欣寿会「芙蓉荘」	避難誘導用すべり台増設	1,964	1,472	現在設置されている避難誘導用スロープ付近に2階居室から避難できるすべり台を整備する。
			H14合計		18,300	11,586	
		1	甲州ろうあ太鼓	甲州ろうあ太鼓結成20周年記念公演	1,430	900	甲州ろうあ太鼓は、聴覚障害者と健聴者がお互いの立場を尊重し、協力しあって20年間活動してきた。この公演を通して、障害者と共に生きることの大切さを学び、障害者に住みやすい地域づくりの精神的啓発を推進すると同時に、障害者が社会に進んで参加することの意義や自立することの意義、また地域社会とのふれあいの重要性を学ぶことを目的とする。なお、この公演は全国ボランティアフェスティバルやまなしに協賛して開催される。
		2	自立ネットワークやまなし	障害者自立生活活動支援事業	1,110	737	高齢者に対してのホームヘルパー研修はよくあるが、身体障害者に対するホームヘルパーの実地研修は少ないのが現状である。これは、障害者の障害の程度、あるいは障害者の生活活動が様々であることなどが原因として考えられる。このため、障害者の生活を承知している障害者自身によるホームヘルパー研修事業を実施する。
		3	県車いす生活者の会ステップアップ	県内外公共施設等実態調査	422	272	自分たちが住んでいる地域の公共施設・コンビニ等の店舗・付近の道路などが身体にハンディのある人や、お年寄りにどのように対応しているか、という実態調査を地元の小中学生等と共に実施する。また、県外の観光地にある公共施設の車椅子への対応実態について調査を行う。以上の調査を冊子にとりまとめ、より多くの人に障害や障害者に理解と関心を持っていただくことを目的とする。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H13	ソフト	4	県骨髄バンクを推進する会	骨髄バンク普及啓発映画「いのちのあさがお」貸出事業	310	205	白血病などの血液難病の患者さんを救うために、骨髄移植があります。骨髄移植が成功するためには、白血球の型(HLA型)が一致しなければならず、一致する確率は数百人から数万人に1人とまれなため、より多くの方々に骨髄バンクに登録していただく必要があります。国では30万人の登録を目指して、ドナー登録の呼びかけを行っていますが、現在登録者数は13万人で、本県においては701人(4月末現在)と全国でも下から2番目の登録者数となっています。本会では、これまでも県民のみなさまに骨髄バンクについて理解してもらい、一人でも多くの方にドナー登録をしていただけるよう、街頭キャンペーンやシンポジウムなどにより啓発活動を行ってきましたが、今回、啓発映画「いのちのあさがお」を購入し、県内に広く貸し出しを行うことにより、更に骨髄バンクへの理解を広めたいと考えています。
		5	県獣医師会	動物介在療法(アニマルセラピー)参画事業	677	451	動物とのふれあいを通じて、高齢者や障害者を心身面でサポートし、身体機能及び精神面の向上回復の一助とする動物介在療法(アニマルセラピー)が知られています。これまで、会員(獣医師)が個人としてボランティア(動物飼養者)の方たちと、福祉施設などを訪問し、お年寄りや障害者の方に対して動物のふれあいの場を設けて、リハビリテーションの手助けを行ってきましたが、動物の健康管理やボランティアの研修などが十分に行えない状況でした。近年、動物を媒体とした福祉活動が理解されるようになり、獣医師会としても動物介在療法への参画を検討した結果、動物が新しい分野で社会に貢献できることは大切であると考え、3カ年の予定で事業を行うこととしました。
		1	ともしび福祉作業所	水道管漏水及び排水つまり改修工事	912	683	水道管の漏水改修工事及び作業棟とグループホームの排水のつまりの原因となる流し等の改修工事を行う。
		2	かじか寮	リハビリ棟トイレ改修工事及び各便器暖房便座取付	882	629	利用者のリハビリテーションを行っている建物(昭和48年建設)にあるトイレは当施設が身体障害者療護施設(平成5年開設)になってから作ったものであり、階段下の空間を利用して作ったため車椅子の利用者が使用するには少し狭い。また、入口はスロープが必要のため鉄板でスロープを作ったが、不安定さがあり多少危険な状態となっている。このため、トイレを拡張すると共にスロープをコンクリートにする。なお、便器自体も傷みが激しくなっているため、交換する。また、現在当施設では上記の施設のトイレを含めて9カ所のトイレがあるが、全てのトイレで暖房便座を使用していない。特に冬場に便座が冷たいと利用者から意見があったため、職員用トイレ(4カ所)も含めて改修する。
	ハード	3	山梨クリナース	居住棟雨漏り改善のための防水工事	3,061	2,295	当施設は、昭和51年3月1日社会福祉法人の認可を得て、身体障害者授産施設「山梨クリナース」入所者51名通所者38名の利用者を受け入れ、心身障害者に就労訓練及び就労の場としてクリーニング事業、洗剤充填事業などを行っている。施設は平成3年3月に新設し、鉄筋コンクリート2階建て、居住棟は1,429㎡となっている。居住棟には、50名の利用者が寮生活を行っており、居室、食堂、談話室などの設備がある。しかし、最近になり一部玄関から食堂入り口にかけて、雨漏りが発生し、利用者の日常生活に支障が生じているため、早急に改善したい。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
		4	こぶし授産園	庇取付工事	1,365	1,023	現在、作業場出口付近にだけ庇があり、そこで製品の積み下ろし(朝夕1回)などを行っております。しかし、庇が狭いせいか雨の日は雨水が吹き込み困っており、修繕に急を要しております。また、最近ではその場所に喫煙所があること、花壇を整備したことなどもあり利用者がその場所での休憩(午前、お昼、午後の3回)をするようになっております。利用者の希望もあり、庇部分を現在の作業場出口付近だけでなく、そこから建物に沿って広げ、雨水の吹き込みを防ぐと共に、みんなが楽しく花壇を鑑賞し、四季を楽しめる休憩所の整備を行いたいと思います。
		H13計			10,169	7,195	
		1	県視覚障害者福祉協会	関東地区選抜盲社会人グランドソフトボール大会	263	175	全国身体障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技・関東地区予選会である、第31回関東地区盲社会人グランドソフトボール大会を平成13年度に山梨において開催することとなり、その運営準備として審判員の育成、技術向上のための研修を行う。また、ふれあいのかいじ大会以降活動が続いている山梨県盲社会人グランドソフトボールチームの選手強化、グランドソフトボール競技の普及啓発も兼ねる。
		2	そよかぜコンサート実行委	そよかぜコンサート	3,480	500	障害は、人の生涯の中でいつでも生じうることで、特別なことではないことから、社会全体の意識も「国連・障害者の十年」等の取組みにより、障害者が地域の中でともに生活することが自然なことであり、制度や建物設備等障害者を取り巻く環境も障害者に配慮したものにするという考え方に大きく変わりつつある。 当実行委員会では、重度身体障害者授産施設「山梨県立あさひワークホーム」の緑豊かな施設敷地を利用し、地域に開かれた福祉施設として、地域社会及びボランティア等の幅広い御支援をいただいで多くの障害者・健常者の方々が参加する野外コンサートを昭和62年から年に一度「あさひワークホーム」を運営する法人とともに継続して実施しています。福祉施設で最高の演奏を聴き、感動し合うという共通の時間を通じて、心の通い合う社会を再認識していただき、ともに生きる心豊かな地域福祉社会の実現を目指しています。
		3	やまなし福祉フォーラム実行委	やまなし福祉フォーラム2000	1,165	704	本年4月からスタートした「介護保険制度」や社会福祉事業法の改正等の流れは、戦後続いてきた措置制度の転換とともに、住民と福祉サービス事業者との契約へと移行し、これらが円滑に運営されるための解決手段の設置等新たな段階をむかえた。こうした動きに対応するため、関係者は資質向上のための研修会や学習会を開催してきたところであるが、職能組織等の縦組織による運営が中心であったため、横の連携を探る声が多く聞かれた。やまなし福祉フォーラム実行委員会は、こうした関係者の期待に応えるため、昨年より幅広い関係者による意見をもとに「みんなが知りたいこと」「活力ある仕事に結びつけること」を題材にフォーラムを開催したところであるが、350名の参加者の要望に応え、福祉関係者の資質向上の一助となるため、本年度も引き続き実行委員会形式によるフォーラムを開催することとした。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
	ソフト	4	県車椅子社交ダンス普及会	車椅子&社交ダンス合同ふれあいパーティー	410	273	当協会は、車椅子生活者もダンスの楽しみを味わって欲しい、障害を持つ人も健常者も共に同じことをする楽しみを味わって欲しい、トリハビリや障害者の社会参加を目的に車椅子社交ダンスのボランティアを行っている。この活動を始めて3年になり、昨年からパーティーを行い、障害を持つ人と健常者とのふれあいを深めている。また、閉じこもりだった車椅子生活者がこのパーティーを機会に外に出るようになり、社会参加活動が少しでもできるように、明るくなるなど、生きがいづくりができるように手伝いたいと、このパーティーを行っている。当協会は、障害のある人とない人がともに社交ダンスを通じて、障害者の生活・文化の向上を図り、障害者に対する理解を深め、一般社会への参加を促進することを目的に活動している。今回、日頃の練習成果の発表と、健常者と障害者が共にふれ合い、車椅子ダンスの普及を目的として、当該事業を開催するものである。
		5	脳血管障害患者・家族の会	脳血管障害に関する講演会と相談会	346	160	山梨医科大学脳神経外科の患者・家族を中心として組織する本会が、一般県民を対象とした脳血管障害に関する講演会及び相談会を開催することで、同じ疾患や障害に悩む患者・家族の啓蒙を図る。
		6	健康づくりと栄養食生活研究会	上野原町民の食環境と栄養素摂取状況等実態調査	1,221	800	現在、心疾患、脳卒中、糖尿病、肥満等の生活習慣病の増加が深刻な問題となってきた。これらの発症への影響要因として、近年の食生活を取り巻く社会環境の変化、すなわち朝食欠食率の増加、加工食品への過度の依存、弧食化現象等が指摘されている。 本研究会は、昨年度、上野原町内において都市化の進む巖地域、長寿で有名な桐原地域、最北端の山間部の西原地域計534名を対象に、小中学生の食行動の実態調査を実施した。家庭での食生活、子ども自身の食行動、生活行動全般に地域差が大きく、巖地域、西原地域では東京などの都市部と同様の食生活であった。他方桐原地域では伝統食を重視した教育効果もみられ、食生活も良好な状態であった。しかし、全般的に肥満傾向児のやや多い実態であった。 そこで本事業では、家庭で小・中学生の育成に携わる保護者がどのような食物入手経路や摂取量、生活リズム、食に対する知識・態度・行動をしているのか、地域住民全体の健康づくりの観点から検討する。
		7	山梨県作業療法士会	平成12年度地域リハビリテーション・フォーラム	739	488	ユニバーサルデザインは、年齢、障害の有無に拘わらず、誰もが自然に社会に参加でき、安全で快適な生活が送れるような社会づくりを目指す考え方である。バリアフリーは、生活を不自由にして環境を取り除くことを目標とするが、ユニバーサルデザインは、バリアフリーの考え方を更に推し進め、はじめから障害のないまちづくりや物づくりを目標としている。近年、少子高齢社会を迎え、ユニバーサルデザインに基づく商品の開発や、都市計画の策定などが徐々に進んでいるが、本県でのユニバーサルデザインについての理解と取り組みは、十分ではない。こうした現状を踏まえ、県内の高齢者や障害を持つ方々、保健・医療・福祉関係者、建築やまちづくりに携わる方々とともに、ユニバーサルデザインの理解を深め、県内での取り組みを推し進めることを目的として、研修会を開催する。
		8	山梨県障害者福祉ふれあい会議	「アジア・太平洋障害者の十年」バンコク会議出席	575	276	本事業は、RNN(12ヶ国の障害者団体と国際障害者関係8団体が参加するNGOのネットワーク。)が企画主催し、1993年から毎年アジア太平洋各地で開催している会議である。アジア・太平洋諸国の障害のある人及び関係者が集まり、各国の障害者の現状と課題、障害者への施策等の討論の場であり、障害者団体や関係者の意見交換会を通して交流を図る。本年は、タイのバンコクで開催されるが、4名が参加する。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H12		9	山梨県認可外保育所連絡協議会	認可外保育所園長研修会	221	147	認可外保育所は、之まで低年齢時保育や長時間保育など地域の細かなニーズに応えることで、認可保育所の補完的役割を果たしてきた。また、在卒園児にとどまらず、地域の育児相談に答えることで、草の根運動的な育児支援を展開してきた。しかしながら、公的助成を受けていないことから、運営状況は厳しい現状にあり、相互の交流や研修は十分ではない。園長研修を行うことで、相互の親睦を深めながら、今日的な保育の課題について学び、日常の保育の質を一層向上させていきたい。また、日常的な相互交流をいっそう活発化させていくきっかけ作りをしたい。
		10	山梨県社会福祉士会・介護福祉士会	福祉公開セミナー	244	160	介護保険がスタートしてから1年が経過しようとしている今、取り組みの目標とされた「総合的なサービスの提供による自立の支援」や「利用者の選択によるサービス利用」さらには「社会的介護の推進」等が思うように進まず悪銭苦闘しているという声が多く聞かれる。そこで、走りをはじめた介護保険をより充実していくために、現状における悩みや苦しみの正体を探り、今後どのような考えや意識を持って対応していくことが利用者にとっても推進するものにとっても必要なのかを考えるために本セミナーを開催する。
		1	つつじが崎学園	重症心身障害児指導室整備事業	3,518	2,638	重症心身障害児通園事業を行うにあたり、保育指導室を増築し、また、周辺の環境整備を行う。
		2	山梨クリナース	オーガニック洗剤充填用自動分注器設置事業	2,014	1,500	身体障害者通所授産施設山梨クリナースでは、訓練生19名、職員4名にて授産科目である洗濯・台所洗剤及びボディ・ヘアー等のシャンプー等の充填作業を行っています。主な取引先としては、神奈川、東京、山梨等のCOOPに納品されております。この度、増加する注文に適切に対応できるよう、生産管理の向上を目指しQC活動を実施しております。現在の手作業で充填している業務を自動機械化し、授産施設製品を、よりクライアントに満足してもらえる製品作りを実現するため本事業を計画しました。
		3	勝沼授産園	生ごみ処理機整備事業	241	180	ヤンマー生ごみ処理機(屋外設置型) Re6型2台を整備し、厨房から排出する生ごみの適正処理を図りたい。
		4	敷島緑陽園	利用者ケース記録・処遇管理システム構築事業	1,659	1,244	当園においては、平成11年12月の入所定員20名増以来、事務量及び利用者データ管理等業務は以前にも増して煩雑化しており、平成15年に導入が予定されている利用契約制度移行に伴い義務付けられている施設サービスあるいは、財務内容等の情報開示により今後益々情報管理業務量の増大が予測される。また、利用者に係る記録や公的書類は法定期間の保存が義務づけられているため、段ボール箱の文書管理資料は増大し続け、何れにせよ、現在のアナログ方式の限界は近づいている。このような状況の中、IT革命と言われる21世紀時代の要請に沿った情報管理が不可欠と考え、DOCUシステムによる情報管理のデジタル化を目指すべく、今回の事業計画に至ったものである。今回の整備により、利用者サービスの向上と、職員の労働環境の改善を目指したい。
		5	わかば保育園	トイレ改装工事	1,365	1,023	トイレの給排水工事、内装・タイルの貼り替え、便器の交換等の改装を行い、園児に衛生的で快適な環境を整える。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
	ハード	6	長坂町しらかば共同作業所	厨房備品整備事業	331	248	しらかば共同作業所は、軽作業を通しての精神障害者の社会復帰を目的として、平成6年に設立した精神障害者小規模作業所である。日課の大部分は地元企業の下請け作業であるが、昨今の経済情勢の悪化で仕事量が減少し、事業計画の見直しを余儀なくされ、また、メンバーの志気の低下が見られるようになった。このため、新たに事業を始めることとし、昨年から椎茸栽培を開始したが、年間を通しての仕事ではないため効果は上がらなかった。今年度は、メンバー、指導者、保護者と打合わせを重ね、椎茸栽培に加え、来年からクッキーの製造販売を開始し、施設の健全運営及びメンバーの志気向上を図ることとした。今回の事業は、クッキーの製造に必要なミキサー、作業台、冷蔵庫等の購入である。
		7	白樺園	渡り廊下屋根設置工事	1,050	750	本館と作業棟(体育館)との渡り廊下に屋根がないため、雨、雪の日に不便であった。また、雪や霜で施設入所者がすべり転倒し、怪我をすることもあった。このため、本館と作業棟間の渡り廊下に幅2m×長さ6.5m×高さ3.5mの屋根を設置する。本施設の作業棟は、入所者の生きがい作りとりハビリのため建設されたが、予算的なゆとりがなかったため、渡り廊下の屋根の建設ができなかった。入所者のさらなる安全と利便性の確保のため本館と作業棟との渡り廊下に屋根を設置する。
		8	チャイルドルームまみい	トイレ等施設整備	1,452	1,089	当園は、平成13年4月の小規模保育所設置認可に向け、現在手続中である。この一環として、保育環境の改善を図るため次のとおり施設整備を行う。 ①現在、園児用トイレは1箇所のみであり、今回トイレ1基を設置することにより男女それぞれに専用トイレを整備する。 ②当園では、園児の出入りは玄関通路を利用している。このため夕方の父兄による出迎え時は、玄関に一時的に集中するため大変混雑するなど運営上支障を来している。こうした状況を改善するため、園庭に面した遊戯室前に昇降口を設置することにより、園児が保育室・遊戯室と園庭を自由に出入りできるようにするとともに、出迎え時の混雑の緩和を図る。併せて、手洗い場を昇降口脇に2ヶ所設置する。 ③乳児室前及び遊戯室前のテラスに庇を設置し、夏場の日よけとするとともに、雨天時の園児の遊び場を確保する。 ④敷地北側に雨水排水を処理するためのU字溝及び配水管を布設する。
		9	ぎんが工房	作業室床張り替え工事	470	352	当施設は、平成8年9月に開所した身体障害者通所授産施設であり、作業を通じて地域住民とのふれあい、障害者の自立と社会参加を進めてきた。開所時に作業室を使い易いように畳で作ったが、車椅子の人が増えたり、重度障害の人が多くなり、畳の部屋も車椅子のまま使用せざるを得なくなった。ゴザやカーペットを敷いて使用していたが、足に引っかけて転んだりして畳の部屋が不便になった。作業室をスムーズに車椅子が出入りできる部屋にし、また入所者と地域の人たちとの交流スペースとしても使えるように畳の部屋から洋間にするために床張り替え工事を行う。
		H12計			20,764	12,707	

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H11	ソフト	1	県身体障害者援護協会	地域福祉セミナー	660	435	21世紀の我が国の社会環境は、4人に1人が高齢者という高齢化社会が予想される中、障害者も高齢化の影響で年々増加し、障害者が地域の中で暮らしていく上では地域での自立が必要である。障害は、人の障害の中でいつでも生じうることで、特別なことではないことから、社会全体の意識や制度など障害者を取り巻く環境も大きく変わりつつある。介護保険制度、成年後見人制度等の創設により利用者の権利性・選択性が確保され、人権尊重の観点から生活支援・権利擁護の推進等様々な面で社会全体での取り組みが見られる。しかし、そのためにはより身近な地域においての心の通う支援や支え合い、ボランティア活動が重要であることから、地域における福祉の基盤を厚くするため、「地域福祉セミナー」を通して広く地域に働きかけるものとする。
		2	県聴覚障害者協会	第30回関東地区ろうあ婦人研修会	7,965	300	関東地区のろうあ婦人が一堂に集まり、社会参加上の様々な困難や問題事例を提起し、解決策を話し合う。また、この集会を通じてお互いの意見や情報を交換し、視野を広げ、生活水準の向上を目指し、地域社会へろうあ婦人の抱える問題を広く啓蒙していくことを目的に開催する。
		3	山梨ライトハウス	視覚障害者に対するボランティア入門講座	300	200	録音奉仕、点訳奉仕、写本奉仕などの専門的な奉仕者から視覚障害者に接する上での基礎知識を身につけたいとの強い要望があり、また、昨年の実例(親子で学ぶ視覚障害者に対するボランティア講座)から、視覚障害者を正しく理解し、その援助方法を学ぶ中から、専門的な奉仕に取り組む人もいます。視覚障害者の福祉の増進とボランティアの養成を目的に事業を実施します。
		4	やまなし福祉フォーラム実行委	やまなし福祉フォーラム99	960	520	平成12年度から実施される介護保険は、福祉の措置から保険サービスへと移行し、社会福祉の仕組みが根本から変わろうとしている。この改革の流れは、社会福祉に携わる私たちの発想の転換を求めている。そこで、これから私たちが進む方向を考える機会として、また、相互の連携を図る上でのきっかけとなるために、県内の福祉系大学同窓生が実行委員会を組織し、「みんなが元気になる」ことを目的にフォーラムを開催する。
		5	県社会福祉士会介護福祉士会	福祉公開セミナー	350	200	社会福祉の基盤制度の再構築がなされつつある中で介護保険導入まであと半年を切った。これまでの措置制度による福祉に変わり、契約によるサービスの選択が可能になる一方で利用者の権利擁護の必要性が急務となっている。今年度のセミナーをとおして新しい成年後見制度について知識を深め、参加者とともに地域福祉権利擁護について考え理解を広めることを目的とする。
		6	県聴覚障害者協会	第31回全国ろうあ者冬季体育大会	7,119	500	全国のろうあ者が、スポーツを通じて健康な身体とフェアプレーの精神を養い社会参加と自立を図るとともに、広く国民と連帯して、ノーマライゼーションの理念に基づく豊かな社会を構築していくことを目的とする。
ハード	1	山梨クリナース	集塵機購入事業	1,369	1,026	身体障害者通所授産施設山梨クリナース酒折分場では、授産事業として各種洗剤の製造加工を行っており、その中の粉石鹼加工の工程において粉塵が発散し、訓練生の健康障害が懸念されている。このため、小型汎用集塵機を設置して作業環境を整備し、訓練生の健康障害を防止する。	
	2	勝沼授産園	駐車場と照明設備設置事業	1,936	1,251	現在砂利敷きである施設駐車場を舗装することにより、車椅子利用者の自動車からの乗降と移動の便宜を図る。また、照明設備を設置して防犯対策を図る。	
	3	甲府市民生福祉会(桜井寮)	大型洗濯機、乾燥機、汚物除去機整備事業	2,900	1,000	大型洗濯脱水機は、設置後14年が経過しており、更新を計画し始めたところ、昨年8月に故障してしまった。回転軸交換修理は光学であるので、この際、買い換えを行う。また、乾燥機・汚物処理機についても、耐用年数が過ぎ、劣化が激しいため洗濯業務用機器の一斉更新を行う。	
		H11計			23,559	5,432	

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
		1	県鍼灸師会	第2回東洋医学イキイキ健康フェスタ	557	300	東洋医学はり・きゅうの専門団体が主催する広く県民に向けた健康祭であり、公開特別講演、健康相談コーナーをととして、より東洋医学への理解を深めてもらい健康管理に役立ててもらおうことを目的とする。
		2	ねこの手	「ねこの手設立会」の開催	820	466	平成6年8月、県下のデイサービスセンターで利用者に直接関わる職員の会を作りたいと言うことで、何人かが集まり山梨県デイサービスセンター実務研究設立準備会がスタートした。当初は、少数施設職員間の親睦を深めることが主な事業だったが、徐々に会員も増え現在33施設、130名の会員となっている。事業も施設でのレクレーション指導、介護保険、在宅福祉についてなどの実務研究会の他、アンケート集計、機関紙の発行等、多種多様になっている。この会の話聞きOT、PT、医師、ボランティア、地域住民など福祉に関わる人達から参加したいとの要望、問い合わせがあり、名称も「ねこの手」と変更し、会の設立が必要となった。又、誰でも参加できる研究会とし、3年間積み上げたものを、地域住民とともに福祉を考え、研究したものを地域に還元することを目的としている。
		3	県教諭師会	第43回東京矯正管区内教諭師研修山梨大会	19,381	400	各刑務所及び少年院等における教諭師の矯正教育活動上の諸問題を研究・討議し、もって、犯罪者の改善更生及び社会復帰に寄与し、地域福祉の向上を目的とする。
		4	甲府赤とんぼ合唱団	合唱ボランティア	1,385	500	地域の福祉施設の慰問、地域行事の参加、募金活動等、合唱を通じてボランティア活動を行う。
		5	県母乳育児を進める会	母乳フォーラム98in山梨	1,115	614	今日の少子化社会にあって「子どもが健やかに生まれ育つための環境づくり」の一環として、母乳育児は重要である。山梨県において、母乳育児がしやすい環境を母親・家族とともに医療従事者の協力を目的にフォーラムを開催する。
		6	山梨ライトハウス	視覚障害者に対するボランティア入門講座	300	200	視覚障害者を正しく理解し、その援助方法を身につけるために、学習と実習を行う。(10講座)
		7	県訪問看護ステーション連絡協議会	定期総会記念講演等	597	398	1 在宅ケアの中核をなす訪問看護のサービスについて一般住民と専門職が、事例をとおして質の高いサービスの在り方を合同で考える機会とする。 2 平成12年度より施行される公的介護保険を踏まえ、在宅ケアの現状・介護保険と在宅療養・訪問看護ステーションの利用等について、介護者並びに医療・福祉関係者等の意見を伺い訪問看護ステーションと介護保険の推進を図る。 3 介護保険が施行されるにあたり、在宅療養者と介護する家族の想いを理解し、介護保険施行後の在宅ケアについて考える機会とする。
		8	日本ホスピス在宅ケア研究会	第6回日本ホスピス在宅ケア研究会全国大会	5,850	300	急激な高齢化の進展や医学・医療技術が進歩する中で、がんなどの末期患者にあっては、積極的な治療を避けて症状の緩和に主眼を置くケアも求められている。このため、緩和ケア病棟や、在宅医療などの整備充実を図るとともに、県民のホスピスに対する理解の促進に努める必要がある。ホスピスについて、医療の専門家と県民が一緒に考え、県民にとってより良い医療を求めていくために、県民が誰でも参加できる全国大会を山梨で開催する。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H10	ソフト	9	県愛育連合会	子育てボランティアの養成及び活動普及事業	530	353	<p>少子化・核家族化・社会連帯意識の稀薄化による地域の養育機能の低下など、子どもや家庭を取り巻く環境が著しく変化する状況の中で、子どもが豊かな心を持ち、希望に満ちた有意義な人生を送ることができるよう社会機能を活性化することが求められている。このことについて、愛育会では日頃の活動の中で、これらの必要性を実感し、愛育会としての支援の在り方を検討してきた。そこで、地域社会の養育機能を充実・強化し母親の育児不安を解消できるような支援を行うため、愛育班員が子育て支援ボランティアとしての資質を獲得できるように次の事業を行う。</p> <p>1 子育て支援ボランティアの養成のための研修会実施                  2 子育て支援ボランティア活動普及のため、各保健所館内愛育連合会での活動発表会実施                  3 母乳哺育の推進                  4 その他、子育て支援に繋がる活動</p>
		10	福祉新聞グッディ発行実行委員会	福祉新聞グッディ発行事業	4,366	1,395	<p>福祉新聞「グッディ」は、福祉に関する様々な情報を、定期的に発信するためのコミュニケーション紙であり、この新聞の発行を通じて「障害者、高齢者」「住民、ボランティア」「行政」の三者に対し、福祉に対する共通の認識を持ちながら、相互の理解を深めることにより、真の「ノーマライゼーション」の実現に寄与することを目的としている。</p>
		11	甲府青年会議所	山の都ハートフェスタ98いきいき広場開催	1,000	650	<p>高齢者、障害者、子ども達とのふれあい(ノーマライゼーション)を通じて、いきいき元気に、楽しさを目的に、ともに運営でき、参加者同士の交流の場づくりを行う。</p>
		12	かみふうせん	峡東地区親子療育教室	340	182	<p>峡東地域の障害乳幼児・保護者を対象に、学習会、情報交換、交流会を行い、在宅介護・育児方法の向上を目指す。</p>
		13	県栄養士会	コンピュータ診断による栄養・食事相談事業	1,502	597	<p>県栄養士会では、ねんりんピックでの「栄養・食事相談」事業や、市町村等が行う「健康まつり」や、健康診断後の事後指導等において食生活に関する栄養相談活動を実施している。</p> <p>また県委託による電話「栄養なんでも相談」を行っており、そこへ直接相談に来るケースも増加している。</p> <p>そこでパソコンによる栄養診断データを基に相談に応じ、的確かつ迅速に個々の被相談者に合った適切な指導を行うことにより、県民の健康づくりに寄与することを目的に事業を進めます。</p>
		14	白根町障害者乗馬会	JWRAオータムチャンピオンシップ1998大会	348	230	<p>白根町障害者乗馬協会は、昨年7月に発足し、本年4月からは町外の障害者も対象として、現在8市町、26名の会員が月2回の乗馬を行っている。この動物と直接ふれあう障害者療育事業は大変有効であり、また日本ウエスタンライディング協会が主催するの一般大会に参加することにより、障害者自身の自信を深め、社会参加の励みとすることを目的にこの事業を実施する。</p>
		15	パソコン点訳グループなかま	視覚障害者に対する情報提供基盤整備	1,889	1,122	<p>情報機器の発達により、現在視覚障害者は様々な点字情報を、迅速に得られるようになってきました。しかし県内ではこうした専門機器のある情報センターが甲府だけであるため、各地域の生活に密着した情報を得たり、提供したりすることは困難です。そこで、こうした機器やソフトを導入し、峡東地域の視覚障害者に十分な情報を提供し、また点訳機器を扱えるボランティアを養成することを目的とします。</p>
		16	ぎんが福祉会	ぎんがフェスティバル開催	265	133	<p>当法人施設(身障通所授産)は、平成8年9月の開所以来、地域に開かれた施設づくりを目指してきた。今回、地域の障害者福祉に対する理解や、障害者との関わりを深めることをねらいに、コンサートを内容としたフェスティバルを計画した。実施に当たっては、地域の子供や老人を招待し、また社協、自治会、ボランティア等を通じて、広く一般住民に参加を呼びかける。</p>

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
		17	県看護協会	在宅ケア関係者交流集会開催	1,863	899	21世紀の高齢社会に向けて、利用者を重視したニーズ志向型のサービスが一層求められている。本県における在宅ケア関係17団体の専門職種が一堂に会し、介護保険制度実施を前に、利用者ニーズを共有し、各専門職種の場合に関わる役割と連携の在り方を研究し、システム化することを目的とする。
		18	県VYS連絡協議会	全国VYS第17回全国研究交流集会参加	1,044	367	VYSとは、社会福祉と子供達の幸福のためにボランティア活動を実践している全国的組織された団体である。県VYSは昭和37年発足以来、ボランティア育成研修、児童健全育成交流会等の活動を行い、また毎週火曜には事業実施のための計画、学習等を行っている。今回、全国のVYS活動を行う仲間達が一堂に会す全国研究交流集会が、本年度愛媛県で開催されるにあたり、学生局員が参加できるよう計画した。
		19	県社会福祉士会介護福祉士会	福祉公開セミナー	350	160	新たな高齢社会システム導入に向けての議論が進む今日、広く一般が参加できる検討の機会として平成8年から毎年実施してきた。今回のセミナーでは、介護保険と住民の接点がどこにあり、導入後住民の果たす役割はどうあるべきかについての検討の機会として開催します。また住民の関心が年々高まり、参加者数も増加しているため、更なる事業の充実を図るため、本補助金による3年間の継続助成をお願いする。
	ハード	1	勝沼授産園	手織機購入	549	400	障害の有無にかかわらず楽しく創作、表現活動が行える「さおり織り」を施設に導入し、当園通所者である知的障害者と、周辺地域社会である峡東地区住民(主婦、小中学生)とふれあう交流スペースを設置する。
		2	くにみ園	ふれあい作業所設置	1,028	771	施設利用者と住民が軽作業をしながら、交流を深め発達遅滞者を含めた知的障害者への理解と、社会福祉概念の理解に対する啓発に寄与することを主な目的とし、施設利用者への広範囲な処遇に向けての改善をも同時にねらいとする。
		3	県歯科医師会	口腔保健センター冷暖房設備設置	4,048	2,185	県からの委託を受け、山梨口腔保健センターで実施している心身障害者(児)に対する歯科診療において、患者及び歯科医師の負担軽減を目的として、冷暖房設備を設置する。
		4	特養芙蓉荘	利用者散策路兼非難誘導路整備事業	1,005	748	当施設建物と避難指定場所の間は、現在未舗装であるため、車椅子や歩行機器を使用する入所者の移動は困難であり、早急に整備する必要があるため申請するものである。また平時においても散策路として有効活用でき、入所者の処遇にとっても大変有意義である。
		H10計			50,132	13,370	
		1	県視覚障害者福祉協会	第43回日本身体障害者福祉大会参加	1,100	733	本大会は、「障害者対策に関する新長期計画に基づく「障害者プラン」(～ノーマライゼーション7ヶ年戦略～)の着実かつ完全な実施をめざし、全国身体障害者の自立と社会経済活動を促進する目的で開催される。本大会に本県の障害者の代表が参加することにより、本県障害者福祉のなお一層の向上を図ることができる。
		2	日本保育協会山梨県支部	第19回日本保育協会関東地区保育者研修会	7,317	200	小子・高齢化の進行により子育てをめぐる状況はますます厳しさを増し、子どもに与える影響は一層深刻化している。次代を担う子どもの育成には、地域・家庭を基盤とした子育て環境づくりが重要であり、そうした子育て支援の推進体制の整備が時代の要請である。その中で、とりわけ公立に比べ先駆的な保育に取り組んでいる民間保育所の果たす役割は大きい。本事業は、関東地区の民間保育所の保育関係者が一同に会し、研修や情報交換を行うものであり、児童福祉の一層の向上を図ることができる。
		3	県介護福祉士会	日本介護福祉士会関東甲信越ブロック研修会	2,520	300	新たな高齢者介護システム導入に向けての議論が進む今日、私たちが日々の実践を通じて学んできたことを、より多くの介護福祉士の共通理解とし、住民に対し質の高い介護サービスの提供に努めていくことを目的として、本研修会を開催する。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
H9	ソフト	4	県骨髄バンクをすすめる会	骨髄移植を知る集い	225	150	映画『金色のクジラ』の上映や骨髄提供者、移植患者の方の講演の実施により骨髄移植・骨髄バンクに対する理解と関心を深めてもらい、骨髄提供登録者の拡大を図る。
		5	山梨ホスピス協会	ホスピス・ボランティア育成事業	508	200	入院、在宅に限らず終末期の患者及びその家族を援助していくために一般県民も参加出来る研修を企画し、ボランティアの登録、制度化を図り実践活動に必要な知識を修得してもらうことを目的とする。
		6	県障害者福祉ふれあい会議	アジア太平洋障害者の10年韓国会議	671	446	アジア太平洋地域の障害者対策について、討議や意見交換会を実施する。
		7	県訪問看護ステーション連絡協議会	定期総会記念講演等	614	409	1 在宅ケアの中核をなす訪問看護について各関係者から提言・要望を受け、利用者により質の高いサービスを提供できる訪問看護ステーションを目指すとともに、広く訪問看護ステーションの存在と利用の周知の機会とする。2 在宅ケアを支える訪問看護の内容やステーションの活動状況、利用方法、各ステーション一覧表等を掲載し、在宅療養の推進を図る。3 在宅療養者と介護する家族の想いを理解し、在宅ケア支援者の学びとする。
		8	県母乳育児をすすめる会	母乳フォーラム97in山梨	662	442	今日の小子化社会にあって、「子どもが健やかに生まれ育つための環境づくり」の一環として、母乳育児は重要である 山梨県において、母乳育児がしやすい環境づくりを、母親・家族とともに医療従事者が協力していくことを目的とする。
		9	県障害者スポーツ協会	97FMHジャパンチャンピオンシップバスケットボール大会参加	700	466	知的障害者スポーツは、身体障害者スポーツに比べ普及が遅れているが、本大会に参加することにより、指導者の資質の向上や本県における競技人口の増加が見込まれ、スポーツを通じ知的障害者の自立と社会参加の推進を図ることができる。
		10	県身体障害者相談員連絡協議会	障害者の結婚問題研究会	511	133	障害者の結婚については様々な問題があるが、相談員を中心として研究会を開催し、事例研究や意見交換を行う研究会を開催することにより、障害者の結婚を促進する。
		11	福祉新聞グッディ発行実行委員会	福祉新聞グッディ発行事業	4,430	1,395	峡北地方の「障害者・高齢者と住民、ボランティア、行政」のトライアングルを効率的に結び、高齢者・障害者福祉に関する諸情報を、タイムリーかつ詳細に伝え、住民及び企業等地域福祉の担い手が、福祉の話題、問題点について共通の理解・認識を持ちつつ参画していく「住民参加型」の推進体制を確立するため、月刊紙を発刊し、併せて印刷業等を通じ障害者の雇用拡大を図る。
		12	山梨・アイオワ高齢化懇話会	フォーラム「アイオワ・ガバナンス・カンファス・オン・エイジング」山梨	460	260	高齢化社会の諸問題や高齢化社会の在り方等について、アイオワ州の団体を招き相互の状況について意見交換を行う。
		13	全国ボランティア・コーディネーター研究集会	全国ボランティア・コーディネーター研究集会	1,900	430	阪神・淡路大震災を契機とした市民ボランティアの広がりに対応するために、ボランティアコーディネーターの資質の向上を図る。
		14	県看護協会	在宅ケア関係者交流集会開催	1,603	1,037	介護保険制度の導入に向けて、在宅ケアに係わる専門職が各々の役割と連携の在り方を研究し、システム化を図る。
		15	世代間交流実行委員会	三世代間交流集会及び在宅福祉ビデオ作成	1,030	606	高齢化率・一人暮らし老人率が県下一である峡南地区において、各世代間の理解と交流を深め在宅福祉の向上を図る。
		16	県児童福祉施設栄養士会	幼児とお年寄りの健康と心の豊かさ作り	1,400	733	幼児と高齢者は食生活で配慮する点を同じくする。行事食の事例集を作成し、食生活から地域福祉の向上を図る。
		17	そだち会	在宅及び地域福祉向上のための映画上映会	350	200	映画「住民が選択した町の福祉」の上映を通じ、在宅福祉及び地域福祉の向上を図る。

地域福祉基金助成事業一覧

年度	事業区分	No.	団体名	事業名	事業費	助成金額	事業概要
	ハード	1	ぎんが工房	厨房用滅菌消毒器の整備	551	413	身体障害者通所授産施設における通所者の中には病気等に対する抵抗力の弱い者も多く、夏場におけるO-157等の流行に備え、通所者に対する食事サービス、また授産科目の菓子作りにおける衛生管理の向上を図る。
		2	身体障害者療護施設かじか療	地域開放用建物補修及び連絡通路新設	4,998	2,623	地域に開放している娯楽棟の補修及び連絡通路の整備を行い、施設入所者の処遇向上並びに地域福祉の向上を図る。
		3	養護老人ホーム和告寮	温蔵庫設置事業	675	354	入所者に温かい食事を提供することにより、入所者処遇の向上を図ると共に、施設職員の業務省力化を図る。
		4	特養和久園	温冷配膳車等設置事業	4,270	2,241	適温での食事を提供することにより、入所者の処遇向上やO-157への対策を図り、施設職員の業務省力化を図る。
		5	特養春光園	シャワーステーション設置事業	2,341	1,229	簡易に入浴できる環境を整備し、入所者の清潔を保ち、処遇向上を図るとともに、施設職員の業務省力化を図る。
				H9計		38,836	15,000